

令和7年度 第2回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議要録（概要）

- 1 日時 令和8年3月13日（金） 午前10時30分～11時30分
- 2 場所 生涯学習センター 第3教室
- 3 出席者 長田委員、川井委員、岡本委員、鈴木委員、山本委員、田村委員、押田委員
（練馬区）文化・生涯学習課長 （事務局）生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
 - (1) 文化・生涯学習課長挨拶
 - (2) 議題
 - ① 令和7年度事業結果報告
 - ② 令和7年度施設利用状況
 - ③ 令和8年度事業計画
 - (3) その他
生涯学習センター事業についての意見交換
- 7 配布資料
 - 資料1 令和7年度事業結果報告
 - 資料2 令和7年度施設利用実績
 - 資料3 利用者アンケート結果
 - 資料4 令和8年度年間事業計画（案）
- 8 会議の概要
 - (1) 文化・生涯学習課長挨拶
 - (2) 議題
 - ①令和7年度事業結果報告
事務局から資料1に基づき説明（内容省略）
 - ②施設利用状況
事務局から資料2-1から2-4、資料3-1から3-2、資料4に基づき説明（内容省略）

<座長> 以上の報告内容について委員の皆様からご意見をお願いいたします。

<委員> 休館の話がありましたが、2 か月程度休館になったことは今までにあったのでしょうか。

<所長> 近年ではありません。秋の休館については、本年3月1日号の区報でお知らせしているほか、ホームページや館内掲示、窓口等でも周知しています。利用者に配布した工事のご案内には、近隣の代替施設等も掲載しています。教室の工事は令和7年9月から順次実施していますが、特に利用者に大きな混乱等は生じていません。

<委員> 施設を予約するためのシステムが更新されると聞いていますがどうなるのでしょうか。

<所長> 今までは、予約したい施設によって、システムが分かれていましたが、一つにまとまった予約システムになります。令和8年7月利用分からは、新システムでの運用になりますが、主な文化施設については2か月前抽選だったものが、3か月前抽選になります。予約システムの登録も従来は窓口だけでしたが、オンライン申請も可能になりました。ただし、登録内容は旧システムから引き継げないため、利用するには改めて新規に登録し直してもらう必要があります。そのため、区報やホームページでの周知に加え、窓口での掲示や声掛けを行っています。ご高齢の方などは、登録に慣れないところもあるので、引き続き、丁寧に対応していきます。

<委員> 今、新システムでの登録の話や、生涯学習センターの休館の話がありましたが、施設によって予約を申し込める時期等が異なるので注意する必要があると思いました。また、資料に生涯学習団体の登録数の記載がありますが、これは生涯学習センターの利用団体数でしょうか。

<所長> 生涯学習団体は、一定の要件を満たす生涯学習の活動を行う団体を登録する制度になります。生涯学習センターを利用している団体ということとは異なります。

<委員> 生涯学習センター分館を利用している中では、今、話題にあった予約システムの更新の話聞いたことがなかったので、もう少し、誰でも情報に触れられるような分かりやすい周知をしていただけるとありがたいです。また、区民文化祭の実績については、参加者数が想定通りだったのかななども分かると思いしました。また、区

民将棋大会に関連して、他区では、近隣の将棋教室等に声掛けして多くの参加者が集まった事例があります。

<所長>生涯学習センターだけでなく、分館についても、予約システム更新の周知を丁寧に行っていきたいと思います。

<委員>いろいろな事業を実施していると思いました。特に練馬児童合唱団の出演機会が例年より増えており、参加児童にとっても良いことかと思いました。また、データはないかと思いますが、生涯学習センターの事業に外国人の方はどの程度参加されているのでしょうか。

<委員>私の所属している団体には、2名の外国人の方が加入しました。

<所長>今、お話がありましたように生涯学習センターを利用している団体の中には、外国人の方がいらっしゃることもあるかもしれませんが、具体的には把握しておりません。また、主催事業で外国人の方をお見掛けすることは、ないように思います。

<委員>小・中学校では外国人の方が増えていると思います。私の団体にも外国人の方が加入するなど、外国人の方と接する機会が増えるのではないかと思います。今後は外国人の方も楽しめるようなイベントや準備も必要になってくるかなと思いました。

<課長>所感としては、区役所内の国保の届出や、マイナンバーの届出の窓口などではここ数年で外国人の方が増えていると感じます。そのため、生涯学習センターとしても外国人の方へのアプローチも重要です。区民文化祭などは日本の伝統文化を体験できる機会でもあるので、需要があるのではないかと思います。

<所長>生涯学習センターで所管している向山庭園では、近隣にスタジオツアー東京も開設したことから、外国人観光客にも来園してもらおうと色々考えています。お茶席のイベントなどでは外国人の方の参加が見られることもあります。

<副座長>資料の「区民発」生涯学習出前講座について、例えば、趣味と仲間づくり講座縁ジョイ倶楽部に参加するような団体が出前講座として、小・中学校や施設などに outward することを検討してはどうでしょうか。

<座長>生涯学習センターになる前の公民館の時代だったかと思いますが、私自身も

小・中学校や高齢者施設に出向いて活動を行ったことがあります。

<所長>現在、生涯学習センターでは、小・中学校から公演依頼を受けることはありませんが、高齢者施設からは依頼等があり、出前講座に限らず、ご希望に応じて、該当する生涯学習団体や、サークルを紹介しています。具体的な内容については、問い合わせ者と紹介した団体で決めていただく形になります。

<副座長>現在の出前講座は、どちらかと言うと受け身的で、こちらからPRする方策の一つに縁ジョイ倶楽部などを利用するのも良いかと思いました。

<委員>小・中学校などは、校長先生や地域のつながりなどにより、依頼する団体が既に決まっていると思われます。小・中学校の関係者が集まる機会に出前講座をお知らせするのも良いと思います。

<課長>社会教育分野に限らず、行政全般としていろいろな分野で、小・中学校や、高齢者施設への働きかけは行っています。また、委員から話もありましたが、学校と地域とのつながりの中から、実施に至るケースもあると思います。ほかにも、美術館の学芸員を学校に派遣して、講座を実施することや、団体が自主的に学校に働きかけてつながる方法、今回の出前講座のような事業を紹介し、ニーズに合わせて利用いただく方法など、働きかけの方法はたくさんあると思います。

<委員>私の団体では、近隣の小・中学校や、病院などから依頼を受けて活動することもあります。これは、団体の前任者の方々と地域とのつながりを引き継いでいるものです。

(3) その他

<所長>今後、生涯学習センターの利用や事業について、何かテーマを決めて意見交換することも出来たらと思います。今回は、「寿大学通信講座を多くの方に知って利用してもらうには」をテーマに意見交換できたらと思います。

<座長>私も一度、地域集会所で寿大学通信講座の案内を受けたことありますが、施設に提出した場合、どこで添削してもらえるのでしょうか。

<所長>各施設に提出されたものが、一度、生涯学習センターに交換便で集められ、そちらを郵送等で講師の先生のご自宅に送り、先生がご自宅で添削したものを生涯学習センターに返してもらい、そちらを各施設に交換便で送り、利用者の方が各施設に

受け取りに行く流れになります。

<委員>本事業により、例えば独居のご高齢の方が、近隣の施設まで出向くために身体を動かすことで健康維持にもつながるかと思います。また、学びの部分で添削やスクーリングが励みになっていると思います。

<副座長>利用者を増やすためには、やりたいと思う人の意欲を持たせることが重要だと思います。例えば、寿大学通信講座を利用し、継続することで書初め展やスクーリングに参加できることが意欲をかき立てるのに有効なのであれば、その情報を反映することが良いかと思います。また、俳句であれば生涯学習センターで活動している書道の団体に綺麗な書にしてもらって施設に展示することも良いのではないのでしょうか。やりたいと思う人をさらに後押しできる方法を考えることが必要だと思います。

<座長>本事業の受付窓口は敬老館や地区区民館とたくさんありますが、高齢者の方は、外の気温が寒くなったり、工事で施設が休館してしまったりするとそれを機に辞めてしまうことがあるのかもしれないと思います。

<副座長>周知の方法としては、口コミも重要であると思います。そのためには、今、本事業に参加している方たちが、他の人も誘ってみようと思えるような工夫も必要になります。

<所長>利用者を増やすためには、大きく、新しい方に利用してもらうための方法、既に利用されている方の満足度を高めて広めてもらうための方法、両方の方法があることが分かりました。いただいたご意見も参考にして、利用を促進する方策を検討していきたいと思います。

<座長>以上で本日の生涯学習センター運営懇談会を終了いたします。